新潟西部地域
「新之助」生育情報　No.2

令 和 6 年 6 月 10 日
巻農業普及指導センター

◎茎数「多い」！今後は気温が高く、茎数が急増する見込み
◎目標茎数を確保したら、速やかに中干しを開始

【6月10日の生育データ(指標値比較)】

草丈「並」　茎数「多い」　葉数「やや遅い」　葉色「並」

区分	調査地点	移植日	草丈(cm)		茎数(本／㎡)		主幹葉数(L)		葉色(SPAD)	
			本年値	指標比 %	本年値	指標比 %	本年値	指標差L	本年値	指標差
分施	巻(普及)	5月14日	25	89	235	131	6.4	−0.4	35.3	−0.7
全量基肥	巻	5月18日	27	96	202	112	5.4	−1.4	34.4	−1.6
	岩室	5月11日	31	112	224	124	6.3	−0.5	37.2	1.2
	潟東	5月10日	25	89	201	112	7.2	0.4	35.3	−0.7
	中之口	5月12日	27	96	188	104	6.5	−0.3	35.0	−1.0
	黒埼	5月10日	30	107	156	87	6.3	−0.5	35.8	−0.2
	にいがた西	5月11日	29	104	303	168	6.2	−0.6	35.8	−0.2
全体平均		5月12日	28	99	216	120	6.3	−0.5	35.5	−0.5
指標値		5月15日	28		180		6.8		36.0	
近年値		5月13日	27		218		6.5		35.2	

※調査地点：JA新潟かがやき「越後中央」新之助研究会、JA新潟かがやき「みらい」新之助栽培研究会、普及センター気象感応ほ調査データ
※近年値：H29～R5までの平均値

【今後1か月の気象状況】

○ 新潟地方気象台の1か月(6/8～7/7)予報では、向こう1か月の気温は高く、降水量は平年並みの見込みです。

【今後6月20日頃までの管理ポイント】

[中干し開始のめやす(目標茎数)]
280～320本/㎡、18～21本/株
※この時期の茎数は、1日で1株当たり1.5本増加します

○ 中干しは田面に**小ヒビが入る程度**で終了し、登熟後半のほ場の水持ちを維持するため、大ヒビがはいらないようにしましょう。

○ 溝切りは、生育調節や地耐力確保のためだけでなく、**フェーン時等の迅速なかん水にも効果**があるため、確実に行いましょう。
溝は**2.5m程度の間隔、深さ10cm以上**で、必ず**水口と水尻に接続**しましょう。

○ 梅雨に入ると、いもち病発生の危険性が高まります。対策を行いましょう。
補植苗は速やかに処分しましょう。

(次回調査は６月20日)